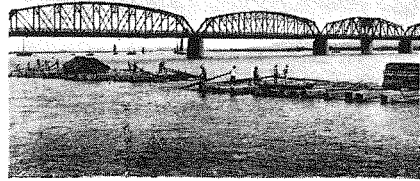


Tale of Korea.



(5) Inner View of Dining Car, Chosen Imperial Railway.

朝鮮の話 其の二



(6) Rafters in the Ooryokko. (Yalu River)

朝鮮の話一編は朝鮮鐵道局の手になつたもので、朝鮮のアウトラインを知るに手頃な短編である、前號に續いて必讀を乞ふものである (編者)

日韓併合は前述 の如くして成立した、爾來朝鮮に總督府が置かれて、あらゆる方面に改善の努力が拂はれておるのである、一寸其例を擧げてみると、併合當時僅に六千萬圓しかなかつた貿易額が、大正十三年には六億四千萬圓といふ。

十倍以上に増加 した、即ちそれだけ朝鮮産業の發達を物語るものである、一體此朝鮮の生産が、どれ程内地に關係があるかといふと、内地人が朝鮮から最も大きな恩恵を蒙つてゐるのは

第一番に米 である、之に就ては今日内地の状態を述べなければならぬが、先づ一口にいふと、内地は土地が狭ひのに矢鱈に人が多くて、結局食ふ米が足りないといふのである、現今朝鮮からは

年々五百萬石 の米を内地に送り出してゐる、近い將來には八百萬石も送り出す事が出来るといふ事である、一と頃朝鮮米といふと、内地の米から見ると一段味の悪いやうに嗜されたものだが、それは一部

奸度の惡宣傳 であつて、實際の朝鮮米は、内地米に較べて變つたこともなく、内地の一等米にも劣らない程、質はよいのであるが、五百萬石の朝鮮米が、どういふ具合に内地で消化されてゐるかといふと、みな内地米だといはれ、或は内地の米に混合されて賣捌かれてゐるので、米の足りない内地では恐らく全國の人が、朝鮮米を口にしておらない人はいなからう、唯知らずに食つてゐるだけである、次に大きな貢獻としておるものに金塊の四百萬圓

棉が一億三千萬斤 その他牛肉、海魚、それから

有名な藥用人蔘の出來高も中々なものであるし、近來は生絲、山繭の産額も非常に殖へてゐる。

林檎、栗 などの果物もよろしい、近頃大阪や方々の町で、天津栗とよんで賣つてゐるのは大部分朝鮮平壤の柴栗である、又特に

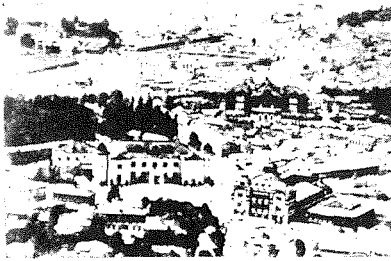
國防上に大きな役目 をしてゐるのは平壤の無煙炭で、之が帝國海軍の重要な燃料となつてゐる、平壤には海軍煉炭所がある。それから將來開拓せらるべき北朝鮮の森林など、朝鮮には之からまだ開發さるべき富源が、中々多いのである。

朝鮮全體の廣さ は丁度内地の本州に匹敵する、即ち一萬四千餘方里であるが、人は僅に一千八百萬内地人が四十萬、内地の人口密度に較べると、朝鮮はまだまだ人口の收容力に於て餘裕綽々だといへる最後に朝鮮の

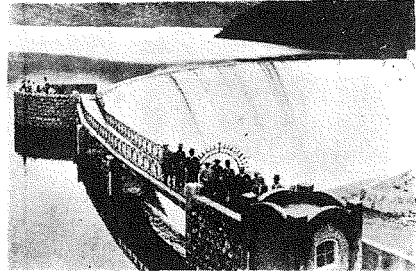
交通と教育 のことに就て概略述べてみると、朝鮮の鐵道は南端の釜山から、滿洲の國境新義州に至る、五百九十哩の縦貫鐵道を幹線として、總督府の鐵道が合計一千三百餘哩、之は總て

廣軌鐵道 で此外私設鐵道が五百哩程あるが、尙敷設中のもの及計畫中のものが約一千五百哩あつて年と共に延長せられつゝある、又鐵道からかけ離れた地方でも、今では大抵の所へは内地同様、自動車が行渡つてゐるから、先づ朝鮮内の旅行には交通機關其他

總て内地同様 にかけておるものと思つて少しも差支ないのである、それから又總督府は早くから教育事業には最も力を盡して、今では朝鮮内に至る所に



(7) View of the Part of Keijo City. (Seoul)



(8) View of the Pondage and Dam of Ekihii Water Utilization Association.

各種の立派な學校が設けられ

京城には帝國大學 も出來てゐる、そして内地同様義務教育の制度に依つてゐるから、今日朝鮮人全體の教育程度といふものは非常に進んで、併合以前に較べると、實に雲泥の差

隔世の感 があるのである、以上述べた通り現在の朝鮮といふものは、僅の年月に總ての方面に於て面目を一新してゐるのである、然るにこの全く

面目一新の朝鮮 新興の氣分に満ちてゐるところの朝鮮、内地同様少しの不安もない平靜な朝鮮を、果してどんな風に内地の人の多數が考へてゐるのであらうか、一と頃一部に

不逞鮮人 といふ忌しい聲が傳へられたことがあつたが、朝鮮人も千八百萬あるのだから、多數の中には十人や二十人、不逞なものがあつたかも知れぬ、泥棒もあるであらう併しそれでは内地人には一人も悪い者などないと云ひ得ようか、それはいふ迄もない日々の新聞なり、刑務所の内容が證明してゐるではないか、だから獨り朝鮮の人に限つて、どの朝鮮人も皆不逞の者だといふことは出來ない、之れみな全く多數母國の人が

本當の朝鮮 なり、朝鮮人といふものを、眞に理解してゐないからである、この頃内地から朝鮮へ修學旅行に往つた學生團體の總てが、實際の朝鮮を見一般鮮人の極めて溫和な風を見て、何れも内地で聞いてゐた不逞鮮人の噂が

大なる誤解 であるといふに一致してゐる、言葉

をかへて平たく言つてみると、譬へば一軒の家の内でも、お互が疑ひの眼を以て、始終腹の中を搜り合つて暮しておるといふやうなことで、到底一家の平和は保たれない、一つの國にしても同じことで、今では朝鮮は日本の國の一部であり、朝鮮人は正に日本人、即ち我が日本といふ一つの國を成してゐるところの國民の一部である、その一つの國民同士がお互に疑惑の眼を以ておては、結局日本の國民としての固い結束が、出來ないといふことになる、畏くも我が

皇室に於かせられても

李王家との御慶事 を以て、國民に籠を垂らせられた、どうか之を機會として諸君は、眞の朝鮮といふものを研究し、鮮人即ち同胞といふ觀念を先づ強く念頭におかれて、此前途洋々、若く新興の意氣に燃ゆるところの朝鮮の人達を可愛がつて、そうしてお互の足らない所を補ひ合ひ、助け合つて、内地の人と朝鮮の人とが、心からとけ合ひ、朝鮮の困るのは即ち日本の患ひであり、朝鮮の發達は即ち日本全體としての幸福であるといふことを考へられて、内鮮人雙方の協力に依て

國家の爲 切に内鮮融和の實を擧げられむことを希望して已ままない次第である、之れやがて日本帝國全體としての平和であり、東洋永遠の平和といふ大目的が達せられ、國民の幸福は永く益々増進し得られるものであると思ふのである。

寫眞説明 (5) 朝鮮國有鐵道の食堂車。半島を縦貫する釜山奉天間運轉の急行旅客直通列車には鐵道局直營の食堂車を連續してゐる。(6) 鴨綠江の流筏(イカダナガシ)俗諺鴨綠節に名高い流筏の狀況で國境の名物である。(7) 京城市街の景。(8) 水利組合貯水池本貯水池は全羅北道全州郡東上面大雅里の峽谷に一萬立方坪のダムを築いて施設した益沃水利組合の貯水池である。